

ウガンダを知ろう！世界を知ろう！！

実践場所	茨城県	茨城県立水海道第一高等学校	実践者	野村 直子	
対 象	3年生(14名)/1年生(40名)		時間数	18時間/3時間	
担当教科	美 術		実践教科	美 術/道 徳	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダを知ることを通して、海外に興味・関心を持つ。 ・途上国とのつながりや問題点を知り、自分にできる国際貢献を考える。 ・途上国の目的や条件を基に、デザイン性を考え、創造的な商品開発を行う。 ・国や民族、風土などによる表現の相違や共通性を考察し、美術文化についての理解を深める。 				
実践内容	回	プログラム		備 考	
	(美術) 1-3	【ウガンダのお土産をつくろう！】 I 商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダについて知る。 ・ウガンダのお土産を見て触って鑑賞する。 ・材料として使用可能なリサイクル素材、天然素材について考える。 ・途上国で現金収入につながる商品開発のキーワードについて話し合う。 		ウガンダのお土産 パワーポイント ワークシート①② 隊員の新聞記事	
	4-16	II 作品制作 <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発のキーワードとお土産のテーマを決める。 ・使用するリサイクル素材、天然素材を集める。 ・アイディアスケッチをしてデザインを考え、制作の予定をたてる。 ・試作をして素材の特徴を理解し、試行錯誤しながら丁寧に制作する。 		リサイクル素材 天然素材 ワークシート③ MONO 語 り (jica mundi) クラフトの参考資料	
	17-18	III 作品鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ・作品にタイトルをつけ、デザインのポイントについてまとめる。 ・作品を展示し、お互いの作品を鑑賞する。 ・お土産の開発を通して考えたことをまとめる。 		ワークシート④⑤ 展示キャプション	
	(道徳) 1	【ウガンダを知ろう！～見る・味わう～】 <ul style="list-style-type: none"> ・事前にアフリカのイメージや、ウガンダについて知りたいことをまとめる。 ・写真を見ながら、アフリカのイメージの正誤や、ウガンダの食べ物や教育などについての相違点をクイズ形式で知る。 ・バナナチップスを試食する。 ・ウガンダについて印象に残ったことの中からベスト3を挙げる。 		パワーポイント 事前アンケート ワークシート① バナナチップス	
	2	【ウガンダを知ろう！～触る・読む～】 <ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダの品物に触って、何に使うものかを予想する。 ・ウガンダの新聞(英語)を読み、興味を持った記事について和訳する。 		ウガンダのお土産 ウガンダの新聞 ワークシート②	
	3	【国際貢献について考えよう】 <ul style="list-style-type: none"> ・青年海外協力隊の活動、米振興プロジェクトの活動を知る。 ・自分の専門分野で、どのような社会貢献・国際貢献ができるか考える。 		パワーポイント ワークシート③ 事後アンケート	
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダを知るには気づきが必要である。固定観念を壊すことや、生徒の関心事をふまえて現地取材や教材収集を行い紹介することを通して、ウガンダへの興味関心を深めることができた。五感を通して体感させることや、自己の体験から実感を持って伝えることも、効果的であった。 ・将来の進路を考える時期に、今後の学びが社会貢献・国際貢献につながることを意識できた。 ・国や風土による表現の相違や共通性を理解し、創造性豊かなウガンダのお土産をつくることができた。 			
	課 題	途上国とのつながりや問題点として、水や食糧問題、一村一品運動や企業の取り組みについても今後とりたい。ウガンダの美術文化の特徴の考察が不足している。今後、音や映像による紹介も増やしたい。			
備 考	作品の校内展示を行い、全校生徒や保護者に向けても、ウガンダについて発信することができた。				

[授業実践の詳細]

美術 1-3 時限目 「ウガンダのお土産をつくろう！ | 商品開発」

1 子どもの活動の流れ

- ① ウガンダを知る・・・写真を見ながら、事前アンケートの「アフリカのイメージ」との比較や、「ウガンダのここが知りたい」への回答を聞く。
- ② ウガンダのお土産鑑賞・・・アクセサリー、置き物、楽器、絵画、布、美術の教科書、紙幣など、実物を見て触る。
- ③ お土産の素材選び・・・お土産制作の材料として使用可能なリサイクル素材、天然素材について考える。
- ④ 商品開発のキーワード・・・途上国で現金収入につながる商品開発の条件について、グループごとに意見を出し合い、まとめた考えを発表する。

この時限のねらい

ウガンダのお土産の実物に触れることで、アフリカの美術文化を肌で感じ、素材の必然性を理解する。発展途上国のお土産をデザインするための、目的や条件を考える。

2 子どもの活動の成果・反応

◇ 商品開発のキーワード(グループ発表より)

- ・A 班・・・「かわいい」「かっこいい」「便利」「ECO」「ユニーク」「置き物」「身につけるもの」「食べ物」「特別感」
- ・B 班・・・「派手」「ウガンダ感」「おしゃれ」「使えるもの」「品質」「グッズ」「安全性」「置き物」「楽器」「めずらしい」「アクセサリー」「絵画」「安い」「アイデアもの」「食べ物」「遊べるもの」「動物」「自然」「ハンドメイド」
- ・C 班・・・「素材」「安いもの」「伝統」「おみやげ」「かわいいもの」「実用的なもの」「おしゃれ」



3 使用した教材

<教材1>お土産(ペーパービーズ)



<教材4>お土産(バナナの皮)



<教材2>お土産(リサイクルペーパー)



<教材5>お土産(バナナの葉)



<教材3>お土産(ビンの蓋)



<教材6>隊員が開発したお土産(チテンジ)



<教材>ウガンダで収集したお土産、パワーポイント、ワークシート①②、隊員の新聞記事

1 子どもの活動の流れ

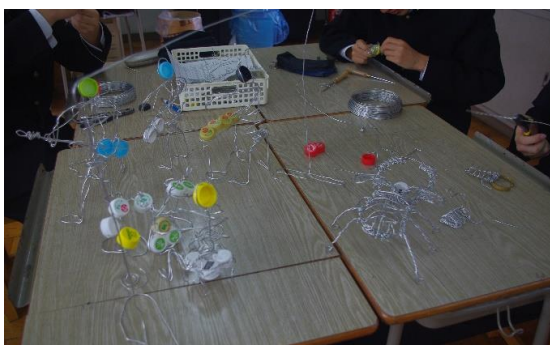
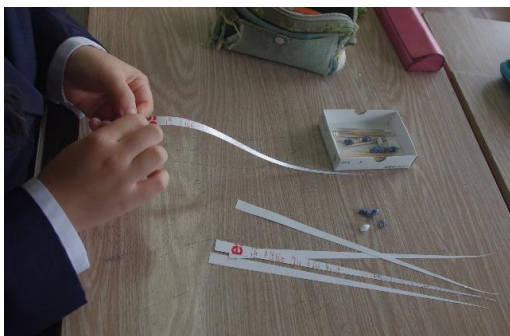
- ① お土産のコンセプト・・・商品開発のキーワードとお土産のテーマを決める。
- ② 素材の決定・・・使用するリサイクル素材、天然素材を選ぶ。
- ③ デザイン案・・・発想を広げながらアイディアスケッチを行う。
- ④ 制作予定をたてる。
- ⑤ 素材収集と試作・・・素材の特徴を理解しながら、作品のイメージをつかむ。
- ⑥ 本制作・・・制作工程を試行錯誤しながら、丁寧に作品を仕上げる。

この時限のねらい

リサイクル素材・天然素材を効果的に使用し、創造的なデザインを考え、心をこめてお土産を制作する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇お土産のテーマ・・・ペーパービーズアクセサリー、置き物、お守り、遊べるもの、使える小物
- ◇リサイクル素材・・・ペットボトルのキャップ、空き缶、ネジなどの廃材、チラシ、ビーズ、毛糸・刺繍糸
- ◇天然素材・・・竹、麻ひも



3 使用した教材

<教材7> 展覧会のチラシ等



<教材8> ペットボトルのキャップ



<教材9> アルミ缶



<教材> ワークシート③、MONO 語り(jica mundi より)、クラフトの参考資料

1 子どもの活動の流れ

- ① ワークシート記入・自己評価・・・作品にタイトルをつけ、デザインのポイントについて、具体的にまとめる。
- ② 作品の鑑賞・・・自分の作品をレイアウトして展示し、デザインのポイントを発表する。お互いの作品を鑑賞し、感想を交換する。
- ③ まとめ・・・お土産の開発を通して考えたことをまとめる。

この時限のねらい

手仕事の素晴らしさに気づき、世界の様々な美術文化のよさや美しさに興味・関心を持つ。
美術を通して国際貢献が出来ることを理解する。

2 子どもの活動の成果・反応

◇生徒の気づき(ワークシートより)

- ・手づくりのあたたかさや一点もののよさを感じた。アイデアや創意工夫が素晴らしい。
- ・国によって、色の使い方や模様が違う。その土地でとれる素材、気候や土地柄にも左右される。
- ・美術作品から感じる感情や思いは同じだと思うので、国境を越えたコミュニケーションをとることができる。



3 使用した教材

<教材>ワークシート④⑤、展示キャプション

1 子どもの活動の流れ

- ① 事前アンケート…アフリカのイメージや、ウガンダについて知りたいことを自由に記入する。
- ② ウガンダを知る…写真を見ながら、アフリカのイメージが正しいかどうか確かめる。ウガンダの食べ物や教育などについて、クイズ形式で違いを知る。
- ③ バナナチップスを試食する。
- ④ ワークシート記入…ウガンダについて印象に残ったことの中からベスト3を挙げる。

この時限のねらい

アフリカについて知らないことを実感する。日本との違いを知り、ウガンダに興味を持つ。

2 子どもの活動の成果・反応

◇ウガンダについて印象に残ったこと(ワークシートより)

- ・学校…教育制度、坊主頭、体罰、留年、休み時間がない、机がない
- ・主食…主食がバナナであることに驚いた、バナナの調理法がすごい、バナナチップスの味
- ・病院…家族が患者の看病をすることに驚いた
- ・気候…あまり暑くない、緑が多い
- ・街…意外に都会、日本の中古車が走っている
- ・アフリカについて自分が大きな偏見を持っているんだということを思い知りました。
- ・同じ地球上にあるけれど、国と国の違いは大きく、まるで違う星で生きているように感じられた。
- ・日本とは違う考え方、環境に対しても興味を持ちましたし、世界中を旅してみたいとも思いました。

3 使用した教材

<教材 10>アフリカのイメージ

アフリカのイメージ		
・暑い	・チョコレート	・水不足
・砂漠	・カカオ	・水が汚い
・赤道	・レアメタル	・ゴミが多い
・自然	・身体能力が高い	・病気
・動物	・水を頭に乘せている	・感染症
・ナイル川	・明るい	・発展途上国
	・大家族	・貧困
	・一夫多妻	・児童労働
	・民族	・治安が悪い
		・戦争

<教材 11>ウガンダの主食は？



<教材 12>ウガンダの校則は？



<教材 13>ウガンダの病院は？



<教材>パワーポイント、事前アンケート、ワークシート①、バナナチップス

1 子どもの活動の流れ

- ① ウガンダの品物に触る・・・実物に触って、何に使うものか予想する。
- ② ウガンダの新聞(英語)を読む・・・興味を持った記事について和訳し、ウガンダの時事問題を知る。

この時限のねらい

ウガンダの新聞や通貨などに触れ、ウガンダの生活を追体験する。ウガンダを知ることを通して、海外に興味・関心を持つ。

2 子どもの活動の成果・反応

◇ウガンダの品物に触った感想より

- ・バナナの木の皮で出来たボールが、以外にしっかりしていて固かった。
- ・ウガンダの紙幣は、カラフルで様々な動物の絵が描かれていた。色分けがされていて分かりやすい。
- ・楽器を足につけて踊るといのはすごい考え方だと思った。太鼓は、こもったような音が意外だった。
- ・ハンマーのようなものが、ピンの蓋を開ける道具だとは思わなかった。大きくて驚いた。

◇ウガンダの新聞を読んだ感想より

- ・日本の新聞と同じように、事件、スポーツ、社会風刺などが書かれており、個人の意見やインタビュー、広告もあった。大統領選挙がウガンダでもあることが分かった。
- ・全ページがカラーで驚いた。非常に見やすかった。人の写真が多い。
- ・英語が難しかった。まだまだ自分の英語力は足りない。

◇生徒の変容(事前・事後アンケート結果より)

	事前アンケート	事後アンケート
海外に興味はありますか	ある 28名(ない 11名)	ある 34名(ない 5名)
行ってみたい国はありますか	ある 32名(ない 7名)	ある 36名(ない 3名)

3 使用した教材

<教材 14>ウガンダの新聞



<教材 15>ウガンダの楽器



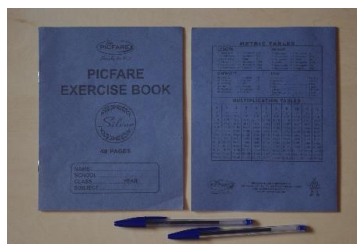
<教材 16>ウガンダの栓抜き



<教材 17>サッカーボール



<教材 18>ウガンダのノート・ボールペン



<教材 19>ウガンダの通貨



<教材>ウガンダで収集したお土産、ワークシート②

1 子どもの活動の流れ

- ① ウガンダにおける青年海外協力隊の活動、米振興プロジェクトの活動を知る。
- ② 「自分が将来学びたいこと」で、どのような社会貢献・国際貢献ができるか考える。

この時限のねらい

途上国とのつながりや問題点を知り、自分の専門を生かした国際貢献を考える。

2 子どもの活動の成果・反応

◇どのような社会貢献・国際貢献ができるか(ワークシートより)


- ・医療・・・苦しんでいる人の心の支えになったり、苦しみを和らげたりする。
- ・薬学・・・病気の痛みから救う。長生きをサポートできる。
- ・栄養・・・世界の栄養不足の人たちのために、安く、たくさんの栄養がとれる食べ物を生み出す。
- ・英語・・・留学して各地域の文化や風習を知り、外国のことをもっと知る。異なる人種や文化の人でも助ける。
東京オリンピックの時、通訳がしたい。
- ・自然・・・どのような時と場所で自然現象が起こるか学び、災害から人を守ったり、自然現象を利用する。
- ・工学・・・まだ電気の届かない地域に電気を届ける。誰かが必要としているものをつくる。
- ・農業・・・自分の作ったものが海外に進出して、海外でも作られるようになる。
- ・教育・・・世界の深刻な現状を把握し、自分ができるボランティアに参加し、子供たちの助けになりたい。
人に教える。その人がそれをまた教える。繰り返される。誰かのための幸せをつくりたい。
- ・歴史・・・「正しい歴史」を発信したい。世界に対して、日本について正しく教える。
- ・演劇・・・世界でいろいろな人が共通の話題を持つことで、交流を深められる場になったらいいと思う。
- ・映画・アニメ・・・自分の作品で世界中の人に何かを伝える。楽しんでもらう。
- ・いろいろ学びたい。今何が必要なのか、それを考えた上で、行動を起こす。
- ・ボランティアの清掃活動、被災地へボランティアなど身近なところで人の役に立てることをしていく。

◇生徒の変容(事前・事後アンケート結果より)

	事前アンケート	事後アンケート
JICAを知っていますか	はい 4名(いいえ 35名)	/
ボランティア活動に興味はありますか	ある 17名(ない 22名)	ある 32名(ない 7名)

3 使用した教材

<教材 20> パワーポイント



青年海外協力隊 (20~39歳)
シニア (40~69歳)

小林かな 隊員
新立みずき 隊員
長谷一宏 隊員
坪井達史 専門家

自分の持っている技術・知識や経験を
開発途上国の人々のために活かしたい!

JICA ジェイカ(独立行政法人国際協力機構 Japan International Cooperation Agency)
ODA(政府開発援助)の実施機関、開発途上国への国際協力を行っている。

シゴト 9つの分野

計画・行政 国・地域づくりにかかわるシゴト 国土・都市計画 防災・危機管理 行政サービスなど	公共・福祉事業 教育・文化・福祉にかかわるシゴト 土木 福祉 医療福祉など	農林水産 食・農・林・水にかかわるシゴト 農業 水産 林業など
新工業 ものづくりにかわるシゴト 製造業 建設・電気設備 流通など	エネルギー エネルギーにかかわるシゴト 電力 再生エネルギーなど	貿易・観光 マーケティングや観光にかかわるシゴト 観光 マーケティング 観光業など
人的資源 教育やトレーニングなどにかかわるシゴト 青少年活動 人材開発 日本語教育など	保健・医療 いのちを守るシゴト 保健 医療 衛生保健など	社会福祉 福祉にかかわるシゴト 障害者・福祉 ボランティア 高齢者のケアなど

<教材> ワークシート③、事後アンケート

■ 全体を通して

1 授業の様子

＜写真1＞作品展示



＜写真2＞商品開発のキーワード



＜写真3＞ペーパービーズ試作



2 参考文献・資料

- 1) 吉田昌夫 白石壮一郎「ウガンダを知るための53章」2012年 明石書店
- 2) アフリカ理解プロジェクト編「アフリカドレス」2005年 明石書店
- 3) アフリカ理解プロジェクト編「アフリカンキッチン」2005年 明石書店
- 4) アフリカ理解プロジェクト編「アフリカンアート&クラフト」2007年 明石書店
- 5) 進藤幸彦「世界の不思議なお守り」1999年 平凡社
- 6) 「イメージのカー国立民族学博物館コレクションにさぐる」2014年 国立民族学博物館
- 7) 「地球の歩き方 東アフリカ」2014年 ダイアモンド社

以上